



ŌMIYA NEWS



No.240

2023年5月26日

JR 東労組大宮地本

**物価上昇の一方で賃金はこんなに減少! そして家計は厳しくなるばかり!
もう我慢の限界だ! 低額相場形成を許さず夏季手当満額回答を勝ち取ろう!**

◆コロナ以降、私たちの賃金はこんなに減少!

期末手当の推移

	夏季手当	年末手当
2019年	2.91カ月	3.18カ月
2020年	2.4カ月	2.2カ月
2021年	2.0カ月	2.0カ月
2022年	2.3カ月	2.4カ月

期末手当削減と定昇カットで大幅減少!



コロナ前と比較して期末手当は累計で**4.97カ月**、平均支給額は累計で**約170万円も減少!** さらに、2021年度の**定昇カット**の影響で、**約11万が減額**に!



2019年比で累計180万円以上も賃金が減少!

◆一方、物価はさらに上昇! 実質賃金は大きく低下!

4月の消費者物価指数(生鮮品除く)は前年同月比**3.4%上昇**、特に**食品は9%も上昇**し**46年ぶりの高水準!** **2020年との比較では4.8%も上昇**しています!

物価高の影響で実質賃金も大きく低下し、厚労省の統計では、**2022年度の実質賃金は1.8%も減少**し、**消費増税・リーマンショックに次ぐ規模**です! (新聞報道より)

物価は大きく上昇!



実質賃金は大きく低下!



もう我慢の限界だ!

家計負担はさらに増加し、政府の物価対策を考慮しても**2年間で家計負担が13万6000円も増える**との試算もあります。(みずほリサーチ&テクノロジーズの試算)

また、既にお知らせの通り今後も値上げが相次ぎ、**食品値上げは秋には3万品目を超える**可能性もあります! (OMIYA NEWS No.234を参照)

そして来月には**電気代の値上げ**が行われます! (14~42%値上げ)



**賃上げを実現しなければ私たちの生活実感は厳しくなる一方です!!
夏季手当は「東証プライム平均2.48」で、本当に良いのでしょうか!?**

**私たちには夏季手当満額獲得が絶対に必要です!
低額相場形成を許さず、満額回答実現を求め職場でたたかいを創り出そう!!**